貸 借 対 照 表 (2021 年3 月31日現在)

(千円)

			(丰円)
資 産	の部	負 債 (の部
科目	金額	科目	金額
流動資産	664,464	流 動 負 債	455,031
現 金•預 金	621,765	未 払 金	241,038
営業未収入金	16,902	未 払 費 用	15,581
貯蔵品	13,106	前 受 金	63,688
前払費用	2,331	預 り 金	13,053
立 替 金	10,358	賞与引当金	5,431
		1年内修繕引当金	41,990
固 定 資 産	4,178,344	未払消費税 等	41,867
有形固定資産	(4,109,241)	未払法人税 等	32,380
建物及び付属設備	2,752,973		
構築物	4,157	固 定 負 債	489,129
機械及び装置	184,901	預り敷金	300,242
工具器具備品	25,097	退職給付引当金	43,332
土地	1,140,246	修繕引当金	107,832
建設仮勘定	1,864	資産除去債務	37,722
無形固定資産	(2,462)		944,161
電話加入権	1,757	純 資 産	の部
電気通信施設利用権	704	科目	金額
投資その他の資産	1	株 主 資 本	3,898,648
出資金	30	資 本 金	1,875,000
保 証 金	20	利 益 剰 余 金	2,023,648
繰延税金資産	66,591	利 益 準 備 金	103,503
		その他利益剰余金	1,920,145
		別 途 積 立 金	1,270,000
		繰越利益剰余金	650,145
<u> </u>		純 資 産 合 計	3,898,648
│ 資産合計	4,842,809	負債・純資産合計	4,842,809

⁽注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

自 2020年 4 月 1 日 至 2021年 3 月31日

(千円)

119, 141

営 業 収 益		1, 001, 729
営 業 費 用		663, 031
販売費及び一般管理費		173, 650
営業利益金額		165, 047
~~ ~~ ~~ ~~ ~~ ~~ ~~ ~~ ~~ ~~ ~~ ~~ ~~		
営業外損益		
営業外収益		
受取利息配当金	5	
雑 収 入	4, 556	4, 561
経常利益金額		169, 609
特別利益		
固定資産受贈益	4, 342	4, 342
税引前当期純利益金額		173, 951
法人税住民税及び事業税		49, 277
法人税等調整額		5, 532

⁽注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

当期純利益金額

株主資本等変動計算書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

(単位:千円)

			利 益 剰 余 金				幼次产入社	
	資本金	利益準備金	その他利	益剰余金	利益剰余金合計	株主資本合計	純資産合計	
		利益华 加立	別途積立金	繰越利益剰余金				
2020年4月1日残高	1,875,000	99,753	1,220,000	622,253	1,942,006	3,817,006	3,817,006	
事業年度中の変動額								
剰余金の配当				△ 37,500	△ 37,500	△ 37,500	△ 37,500	
利益準備金の積立		3,750		△ 3,750	_	_	_	
別途積立金の積立			50,000	△ 50,000	_	_		
当期純利益				119,141	119,141	119,141	119,141	
事業年度中の変動額の合計	_	3,750	50,000	27,891	81,641	81,641	81,641	
2021年3月31日残高	1,875,000	103,503	1,270,000	650,145	2,023,648	3,898,648	3,898,648	

⁽注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日

- 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法 貯蔵品……個別法による原価法
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ① 有形固定資産(リース資産を除く)

2007年3月31日以前に取得したもの

建物付属設備・機械及び装置……旧定率法

建物・構築物・車輌運搬具・工具器具備品……旧定額法

2007年4月1日以降に取得したもの

建物付属設備・機械及び装置……250%定率法

建物・構築物・車輌運搬具・工具器具備品……定額法

2012年4月1日以降に取得したもの

建物付属設備・機械及び装置……200%定率法

建物・構築物・車輌運搬具・工具器具備品……定額法

2016年4月1日以降に取得したもの

機械及び装置……200%定率法

建物・建物付属設備・構築物・車輌運搬具・工具器具備品……定額法

② 無形固定資産 電気通信施設利用権……定額法

- (3) 引当金の計上基準
 - ① 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、従業員の自己都合退職による当事業年度 末において発生していると認められる額を計上しております。

③ 修繕引当金

大規模修繕工事の施工に備えるため、当該費用の合理的見積額のうち当事業年度に対応すべき額を計上しております。

④ 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、破産更生債権等について個別に回収可能性 を勘案し回収不能見込額を計上しております。

(4) 消費税等の処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 表示方法の変更に関する注記

(「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用に伴う変更)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当事業年度から適用し、個別注記表に(会計上の見積りに関する注記)を記載しております。

3. 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次の通りです。

繰延税金資産66,591 千円1 年内修繕引当金41,990 千円修繕引当金107,832 千円資産除去債務37,722 千円

4. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

建华	勿及び付 り	属設備	4,563,068 千円
構	築	物	66, 196 千円
機	械 及び	装 置	31,602 千円
<u>I.</u>	具 器具	備品	174,927 千円
	計		4,835,795 千円

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当期首株式数	当期増加 株式数	当期減少 株式数	当期末 株式数
普通株式(株)	187, 500	_	_	187, 500

(2) 剰余金の配当に関する事項

① 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

<u> </u>					
決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月22日 定時株主総会	普通株式	37, 500	200	2020年3月31日	2020年6月23日

②基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌期となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年6月24日	普通株式	利益剰余金	37, 500	200	2021年	2021年
定時株主総会	日地怀八	小皿利示並	31, 300	200	3月31日	6月25日

6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

修繕引当金	45,815 千円
退職給付引当金	13,250 千円
資産除去債務	3,174 千円
その他	4,352 千円
計	66,591 千円

7. リースにより使用する固定資産に関する注記

- (1) 当事業年度の末日におけるリース物件の取得価額相当額 902 千円
- (2) 当事業年度の末日におけるリース物件の減価償却累計額相当額 556 千円
- (3) 当事業年度の末日におけるリース物件の未経過リース料相当額 356 千円

8. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

営業未収入金に係る顧客の信用リスクは、営業部門業務マニュアルに沿ってリスク低減を図っております。

預り敷金は、入居テナントの債務に対する担保であり、解約時に返還する ものであります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2021年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差額
①現金及び預金	621, 765	621, 765	
②営業未収入金	16, 902	16, 902	_
③立替金	10, 358	10, 358	
④未払金及び未払費用	256, 619	256, 619	_
⑤預り金	13, 053	13, 053	
⑥未払消費税等	41, 867	41, 867	
⑦未払法人税等	32, 380	32, 380	_
⑧預り敷金	300, 242	296, 827	△3, 415

(注) 金融商品の時価の算定方法

- ①現金及び預金②営業未収入金③立替金④未払金及び未払費用⑤預り金
- ⑥未払消費税等⑦未払法人税等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当 該帳簿価額によっております。

⑧預り敷金

預り敷金の時価については、テナントとの平均継続契約年数に基づき、将来 キャッシュ・フローを長期国債の利率で割り引いた現在価値により算定して おります。

9. 賃貸等不動産の時価等に関する注記

当社は、賃貸用のオフィスビルを有しております。2021年3月期における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は337,374千円(賃貸収益は営業収益に、主な賃貸費用は営業費用に計上)であります。また、当該賃貸等不動産の貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は、次のとおりであります。

(単位:千円)

	当期末の時価						
科目	科 目 当期首残高 当期増減額 当期末残高						
オフィスビル	4, 139, 771	△ 59, 787	4, 079, 984	7, 012, 491			

- (注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。
- (注2) 当期末の時価は、「不動産鑑定評価基準」の収益還元法に基づいて自社 で算定した金額であります。

10. 資産除去債務に関する注記

当社は、建物の一部について、解体時におけるアスベスト除去費用に係る債務を有しているため、法令上の義務に関して資産除去債務を計上しております。資産除去債務の見積りにあたり、支出発生までの見込期間を「石綿障害予防規則」の公布から建物の償却満了までの46年、割引率は1.255%を採用しております。なお、2013年度よりアスベスト除去費用の内容を見直し、見積りの変更による増加額を0.641%で割り引き、資産除去債務残高に加算しております。

当期における資産除去債務の残高の推移は次のとおりであります。

当期首残高	37,440 千円
時の経過による調整額	282 千円
当期末残高	37,722 千円

11. 関連当事者との取引に関する注記

	会社等の	会社等の 議決権等の 取引の内容		取引金額	当期末残高
属性	名称	被所有割合	取りの約谷	(千円)	(千円)
法人主要株主	神奈川県	20%	ビル賃貸料等	98, 491	未収入金 750
法人主要株主	横浜市	20%	ビル賃貸料等	36, 172	未収入金 4,690

取引条件及び取引条件の決定方針

- (1) ビル賃貸料等については、当社の料金基準から算定しており、他テナントと同一条件であります。
- (2)上記金額のうち取引金額には消費税等を含まず、期末残高には消費税等を含んでおります。

12. 一株当たり情報に関する注記

(1) 一株当たり純資産額

20,792.79 円

(2) 一株当たり当期純利益

635.42 円